

# 見学

当センターの公開見学会を毎月定期的で開催しています。ホームページで参加申込みください。

<http://sh-center.org/shrepo/visit/>



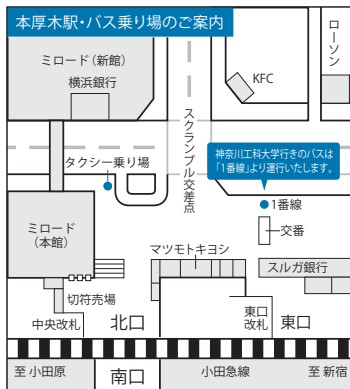
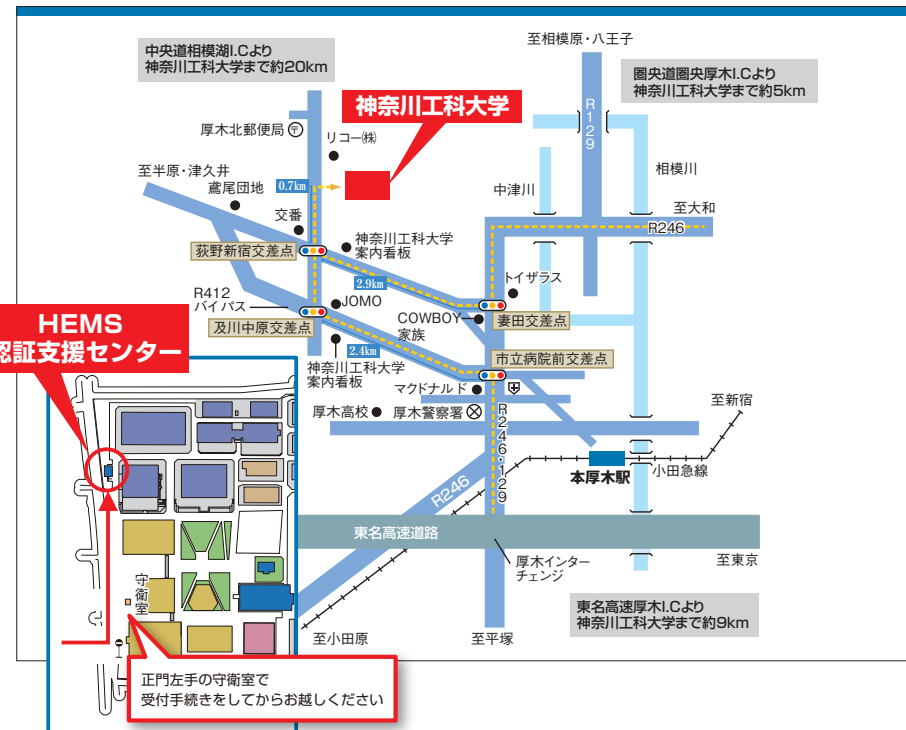
個別の情報交換が出来る、1グループ1企業でご案内しております。

# HEMS (ECHONET Lite)

## 認証支援センター



### アクセスマップ



**小田急線「本厚木駅」下車**  
 「新宿駅」より58分、「横浜駅(相鉄線経由)」より48分、「小田原駅」より46分  
 ● 「本厚木駅」北口・神奈川中央交通バス1番乗場より、「青年の行き」、「神奈川工科大学」前下車。(バス乗車時間23分)  
 または「上荻野車庫行き」、「半原行き」、「まつかけ台行き」、「荻野団地行き」で「荻野新宿」下車(バス乗車時間21分)、徒歩7分。

<http://sh-center.org/>

本プロジェクトは平成23年度次世代エネルギー・社会システム実証事業の内、I-4 エネルギー管理システム標準化における接続・制御技術研究事業の、公知な標準インタフェースを活用した相互接続検証の環境整備(交付決定番号:3430003)に従って実施された事業の、継続年度(平成26年度)における補助事業に基づくものです。

経済産業省 Ministry of Economy, Trade and Industry | エコネットコンソーシアム <http://www.echonet.gr.jp/>

神奈川工科大学 KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY | 工学教育研究推進機構 スマートハウス研究センター  
 〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030  
 TEL:046-281-9307,9308 <http://sh-center.org/>

営業時間 / 9:30~17:00 休業日 / 土曜・日曜・祝日・国民の休日(メンテナンスなどによる不定期の休業もあります)

※1:このパンフレットは2014年10月現在のものです  
 ※2:お断り無く記載内容の一部を変更することがあります

ECHONETとECHONET Liteはエコネットコンソーシアムの商標です。

神奈川工科大学 KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY  
 工学教育研究推進機構 スマートハウス研究センター



## センターの目的と役割

### 1 ECHONET Lite相互接続環境 (認証支援センター)の整備

HEMS (ECHONET Lite) 機器の開発事業者がいつでも相互接続試験が出来る環境を提供しています。

### 2 新規参入事業者向けの HEMS開発支援キットの開発

ECHONET Liteを搭載する機器開発の経験が無い事業者に対するの開発支援として無償で利用できる開発キットを提供しています。

### 3 安全性等を考慮したHEMS及び接続機器の運用ルールガイドラインの策定支援

中小企業など新たにHEMS事業への参入が期待される事業者のニーズに合致した開発ガイドラインの設計を支援します。

#### 【 ECHONET Liteとは 】

エコーネットコンソーシアムにて策定されたHEMS構築のための通信規格。家電機器、スマートメーター、太陽光発電システムなどを含む約80種類以上の機器の制御を規定している。従来の規格「ECHONET」を見直し、ソフトウェアの実装を軽装化した。2012年2月、スマートコミュニティ・アライアンスの「スマートハウス標準化検討会」より、「公知標準インターフェース」として推奨され、スマートハウス向け制御プロトコルとしてISO規格、IEC規格として国際標準化されている。

#### 【 SMA認証に関して 】

2013年12月に制定されたスマート電力量メータ・HEMSコントローラ間アプリケーション通信インターフェース仕様書(以下、SMA仕様書)に基づき実施される。第三者認証機関による実機試験での仕様適合性認証です。

## センター長挨拶

神奈川工科大学HEMS認証支援センターでは、HEMSにおける公知で標準なインターフェースである「ECHONET Lite」規格の相互接続試験環境を提供したり、新規参入事業者向けの開発支援キット頒布などを通じて、スマートハウス・HEMSのビジネスを活性化することを目的に活動しています。

2012年11月21日にHEMS認証支援センターを開所してから、約2年、既に多くの企業がECHONET Lite機器の相互接続試験としてセンターを利用したり、公開見学会では、新規参入を検討されている企業や、海外からの視察で訪れたり、関心が高まっていることを日に日に感じます。

また、2014年4月からはECHONET Liteスマートメーターの第三者認証機関としての活動もスタートしました。今後スマートメーターの全家庭導入が進み、同時にHEMSも設置されていきます。いよいよオープンプラットフォームを活用したビジネス時代の幕開けです。本センタースタッフ一同、今後も皆さまに広く利用され、共に新しい価値を創造するための活動に邁進致します。(2014年9月19日時点)



HEMS (ECHONET Lite) 認証支援センターセンター長  
一色 正男

## 試験

試験の予約に関しては、ホームページよりお申し込みください。 <http://smarthouse-center.org/>

※試験予約はエコーネットコンソーシアムの会員であることが条件となっております。

### ECHONET Lite 機器

対象機器：ECHONET Lite機器全般

認証試験のサポートを致します

エコーネットコンソーシアム会員となりメーカーコードと認証試験仕様書を取得

#### HEMS (ECHONET Lite) 認証支援センターでできる事

STEP 01

認証支援センターの試験アカウントを取得

Web  
サイト上で  
行えること

STEP 02

予約(セルフテスト)

STEP 03

セルフテスト  
ユーザーが試験室を借りて自分で試験

認証支援  
センターで  
行えること

STEP 04

自己認証仕様書作成

ECHONET Lite認証機関へ認証申請  
[http://www.echonetc.gr.jp/kikaku\\_ninsyo/ninsyo\\_kikan.htm](http://www.echonetc.gr.jp/kikaku_ninsyo/ninsyo_kikan.htm)

### SMA 認証試験

対象機器：SMA対応スマート電力量メーター、SMA対応HEMSコントローラ

エコーネットコンソーシアム会員となりメーカーコードと認証試験仕様書を取得

#### HEMS (ECHONET Lite) 認証支援センターでできる事

STEP 01

認証支援センターの試験アカウントを取得後、SMA認証試験予約

STEP 02

ECHONET Lite認証試験の実施

STEP 03

ECHONET Lite認証機関へ認証申請し、認証登録

#### HEMS (ECHONET Lite) 認証支援センターでできる事

STEP 04

SMA認証試験の実施

SMA認証登録書の発行・送付

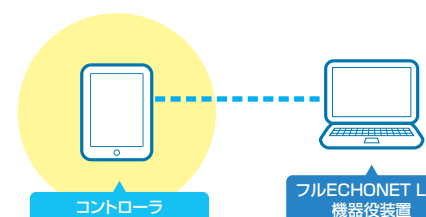
### 4種類の相互接続試験が出来ます

● 持ち込んで試験が実施できる機器    ● Ethernet

1

#### コントローラ相互接続試験

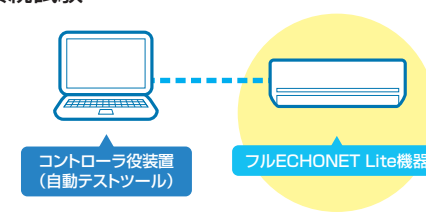
ゲートウェイ、制御機器等のコントローラを開発されている方が、自社の開発製品を持ち込んで、フルECHONET Lite 機器役装置との通信試験を行うことが出来ます。フルECHONET Lite 機器役装置は、エアコン・蓄電池・センサーなど全ての機器オブジェクトになることが可能です。



2

#### フルECHONET Lite機器相互接続試験

エアコン・蓄電池・センサーなどを開発されている方が、自社の開発製品を持ち込んで、コントローラ役装置との通信試験を行うことが出来ます。また、フルECHONET Lite機器として接続できるエアコンも整備しています。



3

#### ECHONET Liteミドルウェアアダプタ相互接続試験

4

#### ECHONET Liteレディ機器相互接続試験

### ECHONET Lite 認証試験を実施できる自動テストツールも完備しています

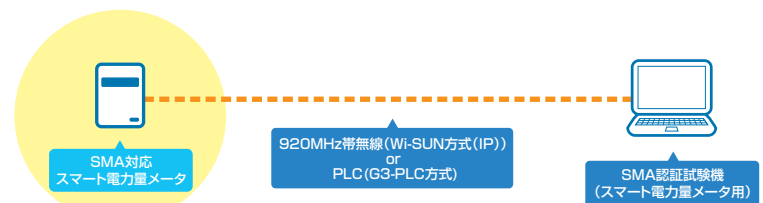
● 持ち込んで試験が実施できる機器    ● スマートメーター-Bルート通信方式

### 2種類の認証試験があります

1

#### SMA対応スマート電力量メーター認証試験

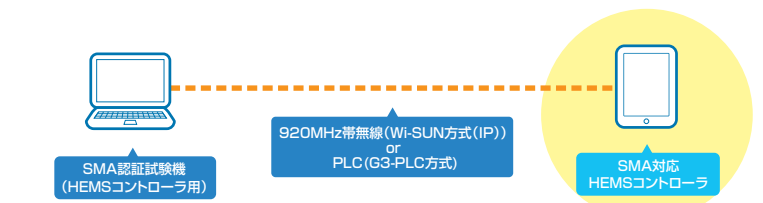
開発中のSMA対応スマート電力量メータ製品に対して、ECHONET Lite認証試験とSMA認証試験を行うことができます。SMA認証試験はセンター職員が実施し、試験合格後はSMA認証登録証を発行致します。



2

#### SMA対応HEMSコントローラ認証試験

開発中のSMA対応HEMSコントローラ製品に対して、ECHONET Lite認証試験とSMA認証試験を行うことができます。SMA認証試験はセンター職員が実施し、試験合格後はSMA認証登録証を発行致します。



## 世界のECHONET Liteへ

### 海外認証支援センター

海外認証支援センター第一号として、マレーシア国立インターネット研究センターが選ばれました。2013年12月16日に神奈川工科大学と技術移転ライセンス契約を締結しており、活動支援を行っています。



海外認証支援センターの試験室風景



マレーシア国立インターネット研究センターと神奈川工科大学との技術移転ライセンス契約の調印風景 (2013年12月16日締結)

### SMA 認証登録証



エコーネットコンソーシアムのWebサイトにて公表しております。

[http://www.echonetc.gr.jp/kikaku\\_ninsyo/list\\_sma/equip\\_srch](http://www.echonetc.gr.jp/kikaku_ninsyo/list_sma/equip_srch)